

がん原性試験の試験結果、対応状況等

平成24年3月10日現在

報告年度		吸入試験	経口投与試験	
	対象化学物質名	試験結果、対応状況等	対象化学物質名	試験結果、対応状況等
昭和62	1987 四塩化炭素	H3指針公示、H17改正	<i>m</i> -フェニレンジアミン・二塩酸塩(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
昭和63	1988			
平成元	1989 メチルブロミド(臭化メチル)	ラット、マウスともに発がん性なし	1, 4-ジオキサン(混水)	H4指針公示、H17改正
平成2	1990			
平成3	1991 1, 2-ジクロロエタン	H5指針公示、H17改正	<i>p</i> -クロロニトロベンゼン(パラ-ニトロクロロベンゼン)(混餌)	H5指針公示、H17改正
平成4	1992 テトラクロロエチレン(パークロルエチレン)	H7指針公示、H17改正	1-クロロ-2, 4-ジニトロベンゼン(混餌)	ラットの雌雄に対する発がん性示唆
平成5	1993 クロロホルム	H7指針公示、H17改正		
平成6	1994			
平成7	1995 <i>p</i> -ジクロロベンゼン	H8指針公示、H17改正	β -クロロプロピオン酸(3-クロロプロピオン酸)(混水)	ラットの雌に対する発がん性示唆
平成8	1996 1, 1, 1-トリクロロエタン	H8指針公示、H17改正	酢酸ビニル(混水)	H8指針公示、H17改正
平成9	1997 塩化メチル(クロロメタン)	ラットおよびマウスに対するがん原性を証明するための証拠としては不十分	ビフェニル(混餌)	H8指針公示、H17改正
平成10	1998 メタリルクロライド(3-クロロ-2-メチル-1-プロパン)	ラットの雄に対するがん原性の不確実な証拠、雌に対するがん原性なし。マウスの雌雄に対するがん原性示唆。	1, 3, 5, 7-テトラアザトリシクロ(3.3.1.1 ^{3, 7})デカン(ウロトロビン、ヘキサメチレンテトラミン)(混水)	マウスの雌に対する発がん性示唆
平成11	1999 ジクロロメタン(二塩化メチレン)	H13指針公示、H17改正	アントラセン(混餌)	H13指針公示、H17改正
平成12	2000 <i>N, N</i> -ジメチルホルムアミド	H17指針公示		
	2-ブテナール(クロトンアルデヒド)	H17指針公示	グリオキサル(混水)	ラットの雌に対するがん原性の可能性を示唆するものの不確実な証拠
平成14	2002 2, 3-エポキシ-1-プロパン(グリシドール)	H17指針公示	ヒドラジン-水化物(混水)	H17指針公示
平成15	2003 アリルクロリド(塩化アリル)	H23指針公示	キノリン(1-アザナフタレン)(混水)	H17指針公示
	シクロヘキセン	ラット、マウスともに発がん性なし	1, 4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン(混餌)	H17指針公示
平成16	2004 1-ブロモ-3-クロロプロパン	H23指針公示	アクリル酸=2-ヒドロキシエチル(混水)	ラットでは、雄に対するがん原性示唆、に対するがん原性の不確実な証拠。マウスに対するがん原性なし。
平成17	2005 ノルマル-ブチル-2, 3-エポキシプロピルエーテル	H23指針公示	<i>o</i> -フェニレンジアミン二塩酸塩(混水)	H23指針公示
	1, 2-ジクロロプロパン	H23指針公示	<i>p</i> -ニトロアニソール(混餌)(パラ-メトキシニトロベンゼン、1-メトキシ-4-ニトロベンゼン)	H23指針公示
平成18	2006 プロピオノニトリル	ラット、マウスともに発がん性なし	2, 4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン(混餌)	H23指針公示
平成19	2007 1-ブロモブタン(臭化ブチル)	指針追加予定物質(H23年度第5回健康障害防止措置検討会で議論)	アセト酢酸メチル(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成20	2008 酢酸イソプロピル	ラットの雄に対し閾値のある発がん性あり指針は策定しないが、リスク評価を実施予定(H23年12月ばく露作業報告告示)	オルト-クロロニトロベンゼン(1-クロロ-2-ニトロベンゼン)(混餌)	H23指針公示
平成21	2009 2, 4-ペンタンジオン(アセチルアセトン)	ラット、マウスともに発がん性なし	2-フェノキシエタノール(エチレングリコールモノフェニルエーテル)(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成22	2010 アクリル酸	H23年度第1回有害性評価小検討会で議論 → ラット、マウスともに発がん性なし	2-アミノ-4-クロロフェノール(混餌)	指針追加予定物質(H23年度第5回健康障害防止措置検討会で議論)
平成23	2011		2-メチル-1-プロパノール(イソブタノール)(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
			2-アミノエタノール(混水)	H23年度第1回有害性評価小検討会で議論 → ラット、マウスともに発がん性なし
			ジフェニルアミン(混餌)	H23年度第1回有害性評価小検討会で議論 → 引き続き議論の予定

(試験実施中の物質)

報告予定年度		吸入試験	経口投与試験	
	対象化学物質名	対応状況等	対象化学物質名	対応状況等
平成23	2011 メチルアミン			
平成24	2012 <i>N, N</i> -ジメチルアセトアミド		3-アミノフェノール	
平成25	2013 エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート		4- <i>tert</i> -ブチルカテコール	
平成26	2014 メタクリル酸2, 3-エポキシプロピル		4-クロロ-2-ニトロアニリン	
平成27	2015 アクロレイン			
平成28	2016 アクリル酸メチル			